令和 5 年度 第 1 回 生物多様性たからづか戦略策定委員会 概要

1 日時 令和 6 年（2024 年） 2 月 1 4 日 10 : 00 ~ 11 : 30

2 場所 宝塚市役所第二庁舎 会議室 B

3 出席者 委員：遠藤委委員長、栃本委員、今住委員
事務局：古南室長、浜崎係長、夏目職員

4 議題及び意見

(1) 生物多様性国家戦略 2023-2030 等について

事務局：国は 2030 年のネイチャーポジティブ実現を目標に掲げ、県もその方向で策定すると思われる。県の策定は令和 6 年度内である。

委員：行政間で目標が共有され、実効性のあるものとすべきである。

(2) 生物多様性たからづか戦略の体系、構成等について

事務局：策定する戦略の構成は、現行よりシンプルにした方がよいのでは。「目標」と「行動方針」は一本にした方がよいのでは。

委員：必要な内容が盛り込まれていれば、構成はシンプルにしてもよい。構成や体系については、今後策定する中で検討していく。

(3) 令和 6 年度調査業務について

事務局：生態系スポット調査は、令和 5 年度末で 97 スポットが調査完了となり、令和 6 年度に残り 32 スポットを調査する予定である。生物多様性たからづか戦略改定基礎調査業務概要は、現行戦略に記載されている自然環境の概況等の調査、分析等を行い、9 月末で中間報告をさせる。

委員：戦略策定時期は、調査業務の結果報告の時期やひょうご戦略の策定状況などから、案より後ろ倒しになるかもしれない

委員：令和 4 年度と令和 5 年度のスポット調査の分析ができていないので、次回の策定委員会で協議できればよいのではないか。

(4) ネイチャーポジティブ宣言について

事務局：ネイチャーポジティブ宣言を発出する自治体が少しずつ現れている。本市は、戦略策定に着手した段階であるが、どう捉えるか。

委員：まだ、この言葉は世間に浸透していないように思う。

委員：宣言するのであれば、議論を経て作成し、市民の意識を高め、実効性があるものとすべきである。